

文化論	1年・後期	1単位 15時間	教授 中村 光一
科目カテゴリー	人としての教養	科目ナンバリング	31220141

1. 授業のねらい・概要

学生は、日本における様々な時代が培ってきた文化を概観することを通じて、学生が鋭敏な国際感覚を持った看護師となることを目指す。もとより8回の講義の中で日本の「文化」を網羅的に述べることは困難であることから、トピックを取り上げる形で講義を行うことになる。

2. 学修の到達目標

1. わが国の文化的特質の概要について説明することができる。(D-1)
2. ケアサービス提供者として、日本文化について説明できる。(D-2)
3. 培われた文化が人々にどのような影響を及ぼしたかを説明できる。(D-4)

3. 授業の進め方

講義形式で授業を進めるが、受講生の理解をより深めるため、パワーポイント等のAV機器を活用する予定である。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングは実施しない。

【ICT活用の有無】

メールやチャット等による学生と教職員間での学習に関するコミュニケーションの機会。

4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	縄文と弥生	講義	予習：「日本の原始時代」について概要を押さえておく 復習：両時代の文化の違いについて確認する	中村光一
2	古墳	講義	予習：「古墳時代」について概要を押さえておく 復習：当時の社会構造との関係を確認する	中村
3	神社と寺院 一固有と外来	講義	予習：「日本人の宗教観」について概要を押さえておく 復習：2つの宗教体系の関連性について確認する	中村
4	大仏造立 ー 8世紀の国家プロジェクト	講義	予習：奈良時代について概要を押さえておく 復習：奈良時代の仏教のあり方について確認する	中村
5	火縄銃 ー 技術の移入	講義	予習：「戦国時代」について概要を押さえておく 復習：「技術の移転」について、類例を考える	中村
6	能楽ー伝統芸能	講義	予習：「能楽」の演目について、ネット上で公開された公演の様子等を確認しておく	中村

			復習：歌舞伎との類似点, 相違点を考える	
7	浮世絵 — ジャポニスムへの影響	講義	予習：「日本の絵画芸術」について概要を押さえておく 復習：六代浮世絵師以外の著名浮世絵師について確認する	中村
8	寿司・蕎麦・天ぷら — 「和食」の成立	講義・試験	予習：「日本の食文化」について概要を押さえておく 復習：試験でできたいこと, できなかったことを確認する	中村

5. 成績評価の方法・基準

定期試験の結果（70%）、授業への取組み姿勢（30%）で総合的に評価する。

試験分については、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況をルーブリック評価表を基に5段階評価で採点する。なお、ルーブリック評価表に関する詳細は第1回講義内で別途説明する。また、定期試験の出題範囲および出題方法等は事前に資料配付の形で提示する。

6. テキスト・参考文献

テキストは特に指定しない。参考文献は講義の中で随時紹介していくので、図書館を利用するほか、新書レベルの書籍は各自購入して読むように心がけてほしい。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

前の回の講義時間の中で紹介する参考文献等を、次回の講義時間までに目を通しておくこと。この予習・復習には、それぞれ90分程度が必要である。

8. 受講上の留意事項

本講義では、日本史上の人物、また地名など固有名詞がしばしば現れることになる。これらは高校程度の「地歴」分野の知識で十分対応できるものであるが、それらを十分咀嚼していない学生は、授業ごとに復習することで、知識を確実なものとしておいてほしい。なお、欠席については欠席届を必ず提出（病欠等の場合は事後も可）すること。また、遅刻、途中退室については事由が生じた際に理由を説明すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

定期試験の際、受験者に対して出題意図・解答のポイントについて解説を行う。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

本授業は、博物館学芸員としての実務経験を活かして指導する。